HB-1000

詳細マニュアル

5.0版

2014/11/07

改版履歴(1/1)

版数	変更内容	変更日
1.0版	制定	2013.6.17
2.0版	表紙　　バージョン、日付変更 P7　　　設定する　　　　設定アイコンを削除 P20　　 言語と文字入力　言語と文字入力画面の差替え P54　　 本体の構成　　　本体の構成イメージの差替え P55　　 LED動作　　　　注意を追記 P58-59　リモコンの準備　ペアリング解除方法を追記 P63　　 製品仕様　　　　SDカードスロットに対応ファイルフォーマット追記 注意事項を追記	2013.12.24
3.0版	表紙　バージョン、日付変更 目次　USBキーボード/マウスの使用方法を追加 ページ番号変更 P7-9　USBキーボード/マウスの使用方法　項目を追加 P23　言語と文字入力　画面の差替え 日本語の入力方法　追記 P52　音楽を聴く　　繰り返し再生解除に記載追記 P58　LED動作　　PWR緑 消灯　記載変更 P64　よくある質問　本体について　記載変更と追記 P66　製品仕様　　注意事項　記載レイアウト変更 ブラウザ・HDMI　記載変更 P79　ソフトウェアライセンスについて　登録商標に関して 新規追加	2014.03.28
4.0版	表紙　　バージョン、日付変更 目次　　ページ番号変更 P19-20　サウンド　　　②音声出力モード　追記 P21-23　ディスプレイ　③テレビ⇒HB-1000連動機能　追記 P68-69　製品仕様　　注意事項　無線LAN　追記	2014/06/23

5.0版	表紙　バージョン、日付変更 目次　ページ番号変更 P3-4　リモコンの使用方法 ①電源の説明欄　追記 注意を追記 参考　記載変更 ＜つかむ＞①　記載変更 P6　文字の入力方法　参考　記載変更 P8　USBキーボード/マウスの使用方法 Enter 対応動作 記載変更 ※1　記載変更 ※4　記載変更 P9　USBキーボード/マウスの使用方法 Ctrl+Alt+Delete 追記 ※5　追記 P15　無線LAN接続　無線LAN自動接続 画面差替えと記載変更 P17　有線LAN接続　2つ目の参考　記載変更 P18　有線LAN接続　参考　記載変更 P23　ディスプレイ　テレビ⇒HB-1000連動機能 記載変更 P24　ストレージ　参考　記載変更 P41-44 インターネットをみる URL入力欄　記載変更 検索欄　記載変更 ②　記載変更 ③　記載変更 参考　記載変更 ④　記載変更 コピー　記載変更 ペースト　記載変更 P45-46 SDカード・USB機器にあるメディアを見る タイトル下の説明文　記載変更 USBストレージを本製品から取り外す　記載変更 P47　写真をみる　写真をみるタイトル　記載変更 P54-56　音楽を聴く　音楽再生　タイトル下の説明とアイコン説明　記載変更	2014/11/07

	プレイリストに曲を追加する ② 記載変更 ③ 記載変更 ④ 記載変更 ⑤ 記載変更 音楽ファイルを再生する ② 記載変更 P59 本体の構成 ⑦ 記載変更 P63-64 リモコンの準備 本体とリモコンの手動接続(ペアリング) ① 記載変更 初期設定時の接続方法（本体ペアリング） ① 記載変更 P66-67 よくある質問 文字入力はどうできる？ 回答 記載変更 インターネットで動画を検索してみることができる？ 質問・回答 記載変更 P68-69 製品仕様 注意事項 全般 追記 注意事項 無線LAN 記載変更 P81 ソフトウェアライセンスについて 登録商標に関して 記載変更	

目　次

このマニュアルの使いかた........1

基本的な操作をする........2

リモコンの使用方法........3

文字の入力方法........5

USBキーボード/マウスの使用方法........7

設定する........10

無線とネットワーク........12

無線LAN接続 13

有線LAN接続 17

サウンド........19

ディスプレイ........21

ストレージ........24

言語と文字入力........25

日付と時刻........27

アプリケーション........30

メンテナンス........31

ファームウェアの自動更新 32

最新ファームの確認（手動更新） 34

データの初期化 36

アクティベートコード 38

端末情報........39

サービスをつかう........40

インターネットをみる........41

SDカード・USB機器にあるメディアをみる........45

写真をみる........47

動画をみる........50

音楽を聴く........53

本製品をご利用にあたって........57

構成品の確認........58

本体の構成........59

LED動作........60

製品設置とケーブルの接続 61
リモコンの準備 63
初期設定 65
よくある質問 66
製品仕様 68
安全上のご注意 70
警告 72
注意 75
守っていただきたいこと 77
ソフトウェアライセンスについて 79

内容については、取り扱いに十分注意すること。

詳細マニュアル

本製品（HB－1000）の詳細な操作方法については本マニュアルをご参照ください。

本マニュアルで使われている表記には、次のようなルールがあります。

[　　]	：	画面上のボタン、または画面上の選択項目を表します。
【　　】ボタン	：	リモコンのボタンはその名前で表します。

参考 ・リモコンのボタンについては「リモコンの使用方法」をご参照ください。

基本的な操作をする

リモコンの使用方法や文字の入力方法について説明します。

リモコンの使用方法

①電源		本体の電源を操作します。 ・ボタンを押すことにより休止モードとなります。 再度押すと休止モードが解除されます。 ・10秒以上押しつづけると再起動とシャットダウンの選択メニューを表示します。 [再起動]を選択した場合、本体を再起動します。 [シャットダウン]を選択した場合、本体をシャットダウンします。 本製品の電源を切る際は、必ずシャットダウンを実施してください。
②ホーム		ホーム画面が表示されます。
③メニュー		メニューが表示されます。
④決定		ポインタやカーソルがあたっているメニューを実行します。
⑤ポインタ（モード切替）		ポインタモードと十字キーモードを切り替えます。
⑥十字キー		ポインタやカーソルを移動します。
⑦ユーティリティ		サービスを利用中に、サービス内の特定機能を呼び出します。
⑧戻る		前の画面に戻ります。

参考 ・休止モード設定／解除は2秒以上あけて実施してください。

注意 ・本製品の電源を切る際は、必ずシャットダウンを実施してください。
「電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。」が画面表示された後、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

リモコンは、各モードを使って操作します。

●ポインタモード

リモコンを使って画面上に表示されるポインタを操作します。
①十字キーモードの際は、【ポインタ】ボタンを押し、モードをポインタモードに切り替えます。
②画面上にポインタが表示されます。

＜移動する＞
【十字キー】ボタンで上下左右に動かします。

＜選択する／決定する＞
選択した箇所にポインタを移動させ【決定】ボタンを押します。

ポインタモードにて、つかむ操作が可能です。

＜つかむ＞
①つかみたい箇所にポインタを移動させ【ポインタ】ボタンを押しつづけます。
②つかんだ状態になるとポインタが変わります。その状態で【十字キー】ボタンで上下左右に移動できます。

＜離す＞
つかんでいる状態で、【決定】ボタンを押すことで離します。

・【決定】ボタンを押しつづけた状態で【十字キー】ボタンを押すと、
　つかんだ状態で移動する操作と同じ動きになります。
・15秒以上操作しないと、ポインタの表示が消えます。

●十字キーモード

リモコンを使って画面上に表示されるポインタを操作します。
①ポインタモードの際は、【ポインタ】ボタンを押し、モードを十字キーモードに切り替えます。
②画面上にカーソルが表示されます。

＜移動する＞
【十字キー】ボタンで上下左右に動かします。

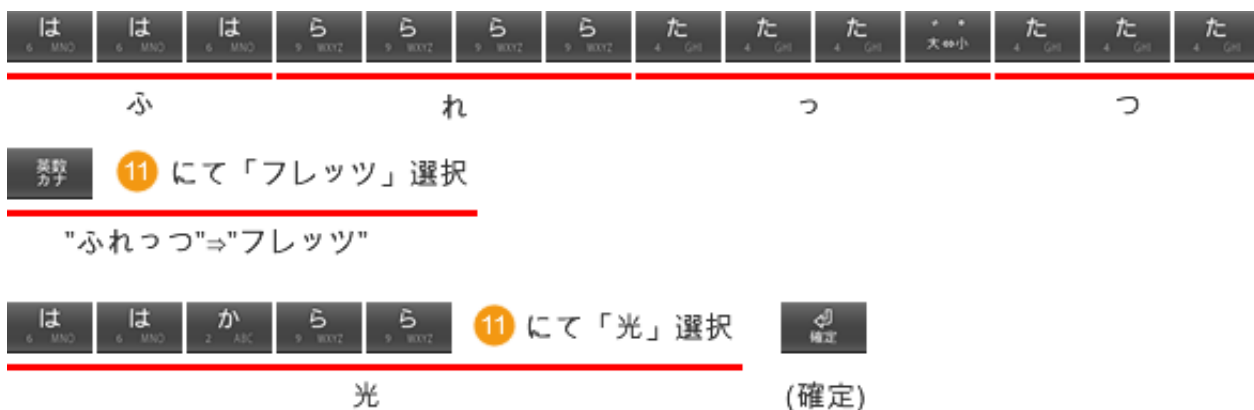
＜選択する／決定する＞
選択した箇所にポインタを移動させ【決定】ボタンを押します。

・十字キーモードでうまく操作できない場合は、ポインタモードに切り替えてご利用ください。

文字の入力方法

<ひらがな入力>

① **入力欄** - 文字を入力します。
② **戻る** - 確定前の文字や記号を入力したときと逆順に切り替えます。
③ **文字キー** - 文字を入力します。
④ **カーソル** - カーソルを左右に移動します。
⑤ **英数カナ** - 英数･カタカナへの変換を行うことができます。文字入力を行っていない時は、[記号]と表示されます。
⑥ **入力モード変更** - ひらがな、英文字、数字の順で入力モードが変更します。
⑦ **削除** - 選択した文字やカーソルの左にある文字を削除します。
⑧ **変換/スペース** - 変換候補リストを表示します。もしくはスペースを入力します。
⑨ **確定** - 入力中の文字を確定します。
⑩ **大/小** - 促音/拗音/濁音/半濁音に変換します。もしくは、大文字または小文字に変換します。
⑪ **変換候補リスト** - 文字の変換候補の一覧が表示されます。
を押すことで、より多くの変換候補を表示されます。

例)フレッツ光と入力する場合

＜英文字入力＞

① **入力欄** - 文字を入力します。
② **戻る** - 確定前の文字や記号を入力したときと逆順に切り替えます。
③ **文字キー** - 文字を入力します。
④ **カーソル** - カーソルを左右に移動します。
⑤ **記号** - 記号の一覧が変換候補リストに表示されます。
⑥ **入力モード変更** - 英文字、数字、ひらがなの順で入力モードが変更します。
⑦ **削除** - 選択した文字やカーソルの左にある文字を削除します。
⑧ **スペース** - スペースを入力します。
⑨ **確定** - 入力中の文字を確定します。
⑩ **大/小** - 大文字または小文字に変換します。
⑪ **変換候補リスト** - 文字の変換候補の一覧が表示されます。
を押すことで、より多くの変換候補を表示されます。

例)NTTと入力する場合

参考 ・[記号]ボタンは押すたび、「全角記号」⇒「半角記号」⇒「顔文字」の順番で[変換候補リスト]に表示されます。

USBキーボード/マウスの使用方法

USBキーボード/マウスで、文字入力と本製品の一部操作が行えます。

＜対応の**USB**キーボード**/**マウスについて＞
推奨するUSBキーボード/マウスを使用してください。
推奨するUSBキーボード/マウスについては、本製品の公式ページをご確認ください。

＜対応キーについて＞
文字入力可能な箇所では、英字、日本語ローマ字、日本語かな入力を行うことができます。

・日本語ローマ字、日本語かな入力の切り替え方法は、「言語と文字入力」の「キーボード設定④日本語の入力方法（USBキーボード）」をご参照ください。

本製品に対応しているキーについて以下の表に示します。
USBキーボードのキーの配列やキーの名称はUSBキーボードにより異なる場合があります。キーの配列や名称については、USBキーボードの取扱説明書をご覧ください。

＜制限事項＞
・対応しているUSBキーボードは108キーボードです。
・108キーボードであった場合でも、本マニュアル通りの動きにならない場合があります。
・USBキーボードについては、一部操作しないキーがあります。

＜ご利用にあたっての注意事項＞
・USBキーボードをパソコンに接続した場合と、本製品に接続した場合の動作が異なることがあります。
・各アプリケーションの仕様によっては、USBキーボード/マウスが本マニュアル通りの動きにならない場合があります。各アプリケーションにおける動作を保障するものではありません。
・マウスをご利用の際は、リモコンを十字キーモードでご利用中でもテレビ画面にポインタが表示されます。

・USBキーボード/マウスの使用方法については、光BOX＋公式ホームページ（http://www.ntt-west.co.jp/kiki/hikaribox/）にも掲載しています。

①USBキーボードの使用方法（文字を入力する場合の主なキー操作）

押下するキー	対応動作	本製品 リモコンでの 対応ボタン
半角/全角	ソフトウェアキーボードの表示⇔非表示を切り替えます。（※1）（※2）	—
カタカナひらがな/ ローマ字	日本語の入力方法を、ローマ字入力⇔かな入力で切り替えます。（※3）	—
Shift + <スペースキー>	入力モードを、ひらがな⇔英文字で切り替えます。	—
Alt + <スペースキー>	変換候補リストに記号が表示されます。	—
<スペースキー>	（ソフトウェアキーボードに変換候補リストが表示されている場合）変換候補リストから文字を選択します。	—
	（ソフトウェアキーボードに変換候補リストが表示されていない場合）入力欄にスペース（空欄）を入れます。	
Enter	ソフトウェアキーボードにカーソルが当たっている箇所を押します。	**決定**
	（ソフトウェアキーボードの変換候補リストで文字選択されている場合）変換文字の確定をします。	
BackSpace	（入力欄に文字が入力されている場合）入力欄のカーソルの左文字を削除します。	—
	（ソフトウェアキーボードに変換候補リストが選択されている場合）ソフトウェアキーボードの変換候補リストを非表示にします。（※4）	
Delete	（入力欄に文字が入力されている場合）入力欄のカーソルの右文字を削除します。	—
Shift + Enter	（入力欄に文字が入力されている場合）入力文字の確定をします。	—
	（入力欄に確定後の文字が入力されている場合）改行を行います。	
<矢印キー>	ソフトウェアキーボードのカーソルを移動します。	—
Shift + <矢印キー>	（入力欄に文字が入力されている場合）文字の編集位置を変更します。	—
<テンキー（数字キー）>	（NumLockがONの場合）テンキーで数字を入力します。	—
	（NumLockがOFFの場合）<矢印キー>として、ソフトウェアキーボードのカーソルを移動します。	

※1 ソフトウェアキーボードに変換候補リストが表示されている場合は、【半角/全角】キーを押してもソフトウェアキーボードが非表示になりません。【BackSpace】キーを押すことで、変換候補リストが非表示になります。
※2 USBキーボードで文字入力をする場合も、テレビ画面にソフトウェアキーボードが表示されます。テレビ画面にソフトウェアキーボードが表示されていない場合は、キーボードでの日本語入力ができません。
※3 日本語入力方法の切り替えは、[設定]メニューからも行えます。「言語と文字入力」の「キーボード設定④日本語の入力方法（USBキーボード）」をご参照ください。
※4 入力欄に文字が入力されている場合は、【Shift】+【Enter】キーを押して入力文字を確定させてから、【BackSpace】キーを押してください。

②USBキーボードの操作方法（その他の主なキー操作）

押下するキー	対応動作	本製品 リモコンでの 対応ボタン
<ウィンドウズキー>	ホーム画面が表示されます。	ホーム
<矢印キー>	ポインタやカーソルを移動します。	十字キー
<テンキー（数字キー）> 8,6,2,4	（NumLockがOFFの場合）<矢印キー>として、ソフトウェアキーボードのカーソルを移動します。	十字キー
<テンキー（数字キー）> 5	（NumLockがOFFの場合）ポインタやカーソルで選択している箇所を決定します。	決定
<アプリケーションキー>	メニューが表示されます。	メニュー
Enter	ポインタやカーソルで選択している箇所を決定します。	決定
Esc	前の画面に戻ります。（※1）	戻る
Ctrl（左側のキー） + Alt（左側のキー） + F10	本体の電源を操作します。 ・押すことで休止モードとなります。 ・再度押すことで休止モードが解除されます。	電源
Ctrl（左側のキー） + Alt（左側のキー） + Delete	再起動とシャットダウンの選択メニューを表示します。（※5） ・[再起動]を選択した場合、本体を再起動します。 ・[シャットダウン]を選択した場合、本体をシャットダウンします。	電源 （10秒間 長押し）
F3	画面解像度を変更します。（※2）（※3） （1920 × 1080p 60Hz ⇒ 1920 × 1080i 60Hz ⇒ 1280 × 720p 60Hzの順で変更されます。）	ー
F4	画面サイズを拡大します。（※4）	ー
F5	画面サイズを縮小します。（※4）	ー
F12	本製品リモコンのユーティリティボタンと同様の動作になります。	ユーティ リティ

※1 ソフトウェアキーボードに変換候補リストが表示されている場合は、【Esc】キーを押しても前の画面に戻りません。
ソフトウェアキーボードに変換候補リストが表示されていない場合は、ソフトウェアキーボードが非表示になります。
※2 画面解像度の変更は、[設定]メニューからも行えます。
※3 [設定]メニュー上で[ディスプレイ]が選択されている時に【F3】キーを押しても、解像度の変更結果が[解像度]表示に反映されません。いったん別画面に移動後に、[設定]メニュー上の[ディスプレイ]を選択する事で、解像度の変更結果が反映されます。
※4 画面サイズの調整は、[設定]メニューからも行えます。
※5 本製品の電源を切る際は、必ずシャットダウンを実施してください。
「電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。」が画面表示された後、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

③マウスの操作方法

操作	対応動作	本製品 リモコンでの 対応ボタン
左クリック	ポインタやカーソルで選択または決定します。	決定
右クリック	前の画面に戻ります。	戻る
センターホイール （スクロールボタン） クリック	メニューが表示されます。	メニュー

設定する

[設定]を選択します。

使用環境の設定と確認ができます。

設定構成

無線とネットワーク : 無線LAN/有線LANの接続設定ができます。

ー **無線LAN接続** : 無線LANの設定ができます。

ー **有線LAN接続** : 有線LANの設定ができます。

サウンド : 音量の設定ができます。

ディスプレイ : 画面解像度の設定や画面サイズ調整ができます。

ストレージ : 内部ストレージ、SDカード、USBストレージの各種容量が確認できます。

言語と文字入力 : キーボード設定、ポインタ感度設定ができます。

日付と時刻 : 日付や時刻などが設定できます。

アプリケーション : アプリケーションの管理ができます。

ユーザマニュアル : 本マニュアルを表示します。

メンテナンス : ファームの更新設定、最新ファームの確認、データ初期化、アクティベートコードの確認ができます。

ー ファームウェアの自動更新 : 更新確認サーバを定期的チェックし、更新がある場合は自動でファームウェア更新できます。

ー 最新ファームの確認 : 手動で最新ファームウェアを確認し、更新がある場合は更新できます。

ー データの初期化 : 設定したデータやインストールしたアプリケーションをすべて削除し、工場出荷状態に戻すことができます。

ー アクティベートコード : アクティベートコードを入力すると、コードに対応したサービスを表示することができます。

端末情報 : 本体のモデル番号、ファームウェアバージョン、無線LAN/有線LAN MACアドレスなどが
確認できます。

無線とネットワーク

[設定]メニューで[無線とネットワーク]を選択します。

本製品は以下のいずれかを利用してインターネットに接続できます。

①無線LAN接続

②有線LAN接続

無線LAN接続

ひかり電話対応ルータ等と無線LAN接続することによりインターネットを利用することができます。無線LANが暗号化されている場合はパスワードを入力して接続します。

無線LANを通じてネットワークに接続する場合は、本製品のLAN端子にLANケーブルを接続しない状態で実施してください。

無線LAN接続

[無線LAN]を選択し、【決定】ボタンを押すとチェックが入ります。

[無線LAN設定]が選択できるようになります。
[無線LAN設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。

使用する無線LAN(SSID)のリストが表示されます。
使用する無線LAN(SSID)を選択すると接続を行います。

該当無線LANが暗号化されている場合はパスワードを入力し[接続]を押します。

参考 ・文字入力方法は「文字の入力方法」をご参照ください。

入力したパスワードが自動記録されて次の接続からはパスワードの入力なしに接続できます。

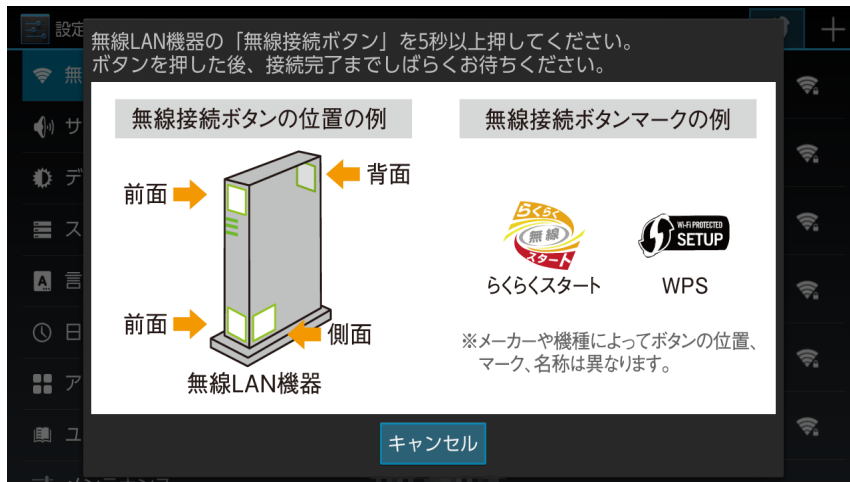
・無線LANが暗号化されている場合はロックアイコンが表示されます。

・無線LAN接続の場合、本体とアクセスポイント(ひかり電話対応ルーター等)と距離があまりにも遠かったり、壁やドアなどの電波障害物があったりする場合は、接続が円滑にできないおそれがあります。アクセスポイント(ひかり電話対応ルーター等)は本体と近くて障害物のないところに設置することをお薦めします。
無線LANの接続が不安定なときは有線LANを使用してください。

・パスワードを表示させながら入力したい場合は、[パスワードを表示する]にチェックを入れてください。上記の画面時にリモコンの【戻る】ボタンを押すと、[パスワードを表示する]にチェックが入れられる画面となります。

・プロキシ設定、IP設定等、詳細設定を行いたい場合は、[詳細オプションを表示]にチェックを入れてください。上記の画面時にリモコン の【戻る】ボタンを押すと、[詳細オプションを表示]にチェックが入れられる画面となります。

無線LAN自動接続

[無線LAN設定]を選択し、接続できる無線LAN(SSID)のリストが表示された状態で、画面右上の を押します。

無線LAN自動接続機能のあるアクセスポイント(ひかり電話対応ルータ等)を使用している場合は無線LAN自動接続機能を利用して便利に無線LANに接続できます。

を押すと無線LAN自動接続待機モードになります。指定時間以内にアクセスポイント(ひかり電話対応ルータ等)の無線接続ボタンを5秒以上押せば自動で接続します。

参考 •無線LAN自動接続の場合は本体とアクセスポイント(ひかり電話対応ルータ等)を近くに置いてください。

無線LANを追加

[無線LAN設定]を選択し、接続できる無線LAN(SSID)のリストが表示された状態で、画面右上の を押します。

ネットワークSSID、セキュリティタイプ、パスワードなどを入力または選択し、[保存]を押します。その無線LANへの接続を試みます。

固定IPを設定する場合は、[詳細オプションを表示]にチェックを入れます。
[プロキシ設定]、[IP設定]が表示されるので、[IP設定]ー[静的]を選択します。
[IPアドレス][ゲートウェイ][ネットマスク][DNS1][DNS2]が表示されるので、それぞれを設定します。

参考 •初期値は[自動(DHCP)]に設定されています。

有線LANを通じてネットワークに接続する場合は本製品のLAN端子にLANケーブルを接続してください。

有線LAN接続

[有線LAN設定]を選択して【決定】ボタンを押します。
[自動(DHCP)]と[固定IP指定]の2つの接続方式を指定できます。

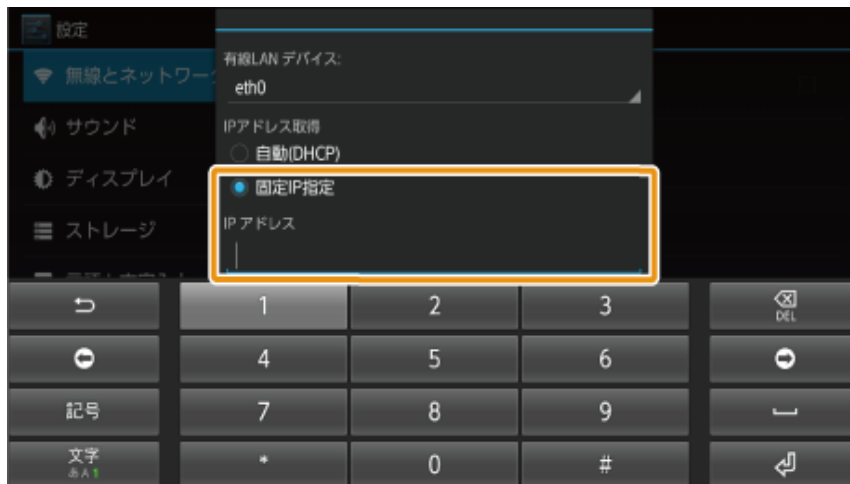
参考 • 有線LANが接続された場合には、接続中の無線LANは自動で切断されます。

①自動(DHCP)

[自動(DHCP)]を選択し[設定]を押すと、自動でIPアドレスが割当てされます。

参考 • お持ちのひかり電話対応ルータ等がDHCP(IPアドレス自動払出し)に設定されていない場合のみ、[固定IP指定]を選択します。

②固定**IP**指定

[固定IP指定]を選択します。
続いて、[IPアドレス]、[ネットマスク]、[DNSアドレス1]、[DNSアドレス2]、[ゲートウェイ]の情報を入力し、[設定]を押すと固定IP指定接続が実行されます。

• [IPアドレス]、[ネットマスク]、[DNSアドレス1]、[DNSアドレス2]、[ゲートウェイ]に正しい設定値を入力しないと[設定]が押せませんので、設定値を確認してください。
• 文字入力方法は「文字の入力方法」をご参照ください。

サウンド

[設定]メニューで[サウンド]を選択します。

①音量の設定

【十字キー】ボタンで音量を調節します。音を小さくするには左へ、大きくするには右へ調節します。
設定が完了したら、[OK]を押してメインメニューに戻ります。

②音声出力モード

音声出力モードを選択できます。

音声出力自動モード
テレビからの信号により音声出力を自動的に設定します。

音声出力固定モード
テレビからの信号に関わらず音声信号を出力します。
音声出力自動モードで音声が出力できない場合、こちらを選択してください。

・テレビによっては、[音声出力固定モード]を選択しても音声が出力されない場合があります。
・本機能の設定を変更する際に、1秒程度画面が消えることがあります。

ディスプレイ

[設定]メニューで[ディスプレイ]を選択します。

使用するテレビ画面に合わせて解像度およびサイズを調整できます。
また、[テレビ⇒HB-1000連動機能]の設定を変更できます。

①解像度設定

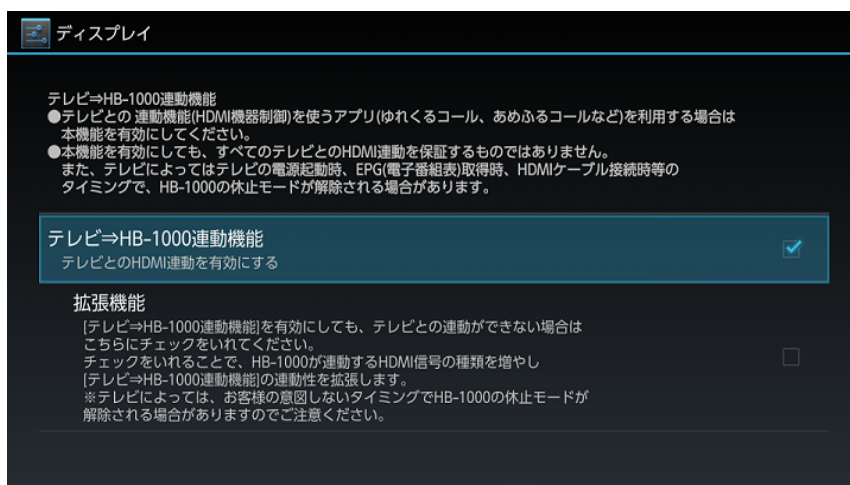
お持ちのテレビに適切な解像度を選択します。

テレビの画面が正常に表示されたら、10秒以内に[設定]を押してください。

②画面サイズの調整

[拡大][縮小]でテレビに表示される画面の大きさを調整します。
画面の大きさ調整が終わったら[OK]を押してください。

③テレビ⇒HB-1000連動機能

テレビからのHDMI連動信号に対し、本製品の電源起動状態を切り替える機能です。

[テレビ⇒HB-1000連動機能]が有効な場合（チェックが入っている場合）
テレビからのHDMI連動信号を受け、本製品の電源起動の状態を切り替えます。
本機能を有効にすることで、以下の連動ができます。
・テレビの電源を入れると、本製品の電源が入る（休止モードが解除される）。
・テレビの電源を切ると、本製品が休止モードになる。

※本機能は、すべてのテレビとの連動機能を保証するものではありません。

⚠注意 ・テレビによっては本機能を有効にすることで、テレビの電源操作時以外でも本製品の電源起動状態が切り替わることがあります。
(テレビのファームウェア更新時、EPG(電子番組表)更新時、予約録画開始時など)

・[テレビ⇒HB-1000連動機能]を有効にしても、テレビとの連動ができない場合は[拡張機能]にチェックをいれてください。
チェックをいれることで、本製品が連動するHDMI信号の種類を増やし、[テレビ⇒HB-1000連動機能]の連動性を拡張します。

※テレビによってはお客様の意図しないタイミングで本製品の休止モードが解除される場合がありますのでご注意ください。
※テレビによっては[拡張機能]にチェックを入れても連動できない場合があります。

[テレビ⇒HB-1000連動機能]が無効な場合（チェックが入っていない場合）
テレビからHDMI連動信号を受けても、本製品の電源起動状態は切り替わりません。

・テレビとの連動機能（HDMI機器制御）を使うアプリ（ゆれくるコール、あめふるコールなど）を利用する場合は本機能を有効にしてください。

ストレージ

参考 • SDカード、USBストレージに保存されているメディア（写真等）をみる方法については、
本マニュアルの「SDカード・USB機器にあるメディアをみる」をご確認ください。

[設定]メニューで[ストレージ]を選択します。

内部ストレージ、SDカード、USBストレージの合計容量や空き容量、アプリケーションや画像、音声などの合計容量を確認できます。

言語と文字入力

[設定]メニューで[言語と文字入力]を選択します。

キーボード設定

キーボードに対する詳細設定を行います。
各設定を選択して、【決定】ボタンを押します。

キーボード設定

① キーポップアップ
チェックをONにすると、文字入力時に選択したキーを拡大表示します。

② 自動大文字変換
チェックをONにすると、英字入力で文頭文字を大文字にします。

③ キーボードのデザイン
キーボードのデザインを変更できます。
標準、シンプル、メタリックから選択してください。

④ 日本語の入力方法（**USB**キーボード）
USBキーボードでの日本語の入力方法を切り替えることができます。
ローマ字入力、かな入力から選択してください。

変換設定

① 候補学習
チェックをONにすると、変換で確定した語句を学習します。
② 予測変換
チェックをONにすると、文字入力時に変換候補を表示します。
③ 入力ミス補正
チェックをONにすると、入力間違いの修正候補を表示します。

辞書

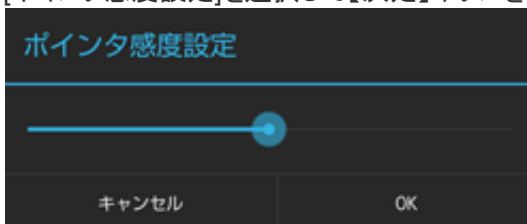
① 日本語ユーザー辞書
日本語ユーザー辞書の単語を編集することができます。
② 英語ユーザー辞書
英語ユーザー辞書の単語を編集することができます。
③ 学習辞書リセット
学習辞書の内容をすべて消去します。

IMEについて
IMEの内容を表示します。

キーボードと入力方法

現在選択されている文字の入力方法が表示されます。

ポインタ感度設定

リモコンポインタの感度を設定することができます。
[ポインタ感度設定]を選択して【決定】ボタンを押します。

【十字キー】ボタンで感度を調節します(15段階)。遅めにするためには左へ、早めにするためには右へ調節します。
設定を完了し、[OK]を押します。

日付と時刻

[設定]メニューで[日付と時刻]を選択します。

本製品に表示される日付および時刻を設定します。

自動設定

初期値では時刻がネットワーク経由で自動設定されます。

参考 •[日付と時刻の自動設定]に設定した場合は、[タイムゾーンの選択]で標準時地域を設定する必要があります。

タイムゾーン選択

参考 •日付と時刻を手動で設定するには、[日付と時刻の自動設定]チェックボックスの選択を解除して、以下の設定を行います。

手動設定

日付設定

変更したい数字をスライドして日付を合わせます。
ポインタモードにて、設定したい数字の上下の数字にカーソルを置き、【決定】ボタンを押すことでスライドします。設定したい日付を確認したあとは[完了]を押してください。

時刻設定

変更したい数字をスライドして時刻を合わせます。
ポインタモードにて、設定したい数字の上下の数字にカーソルを置き、【決定】ボタンを押すことでスライドします。設定したい時刻を確認したあとは[完了]を押してください。

参考 •[24時間表示]のチェックをはずしている場合は、午前・午後を切り替えることができます。[午前]をスライドさせると[午後]に変わります。(その逆も同じです)

表示形式

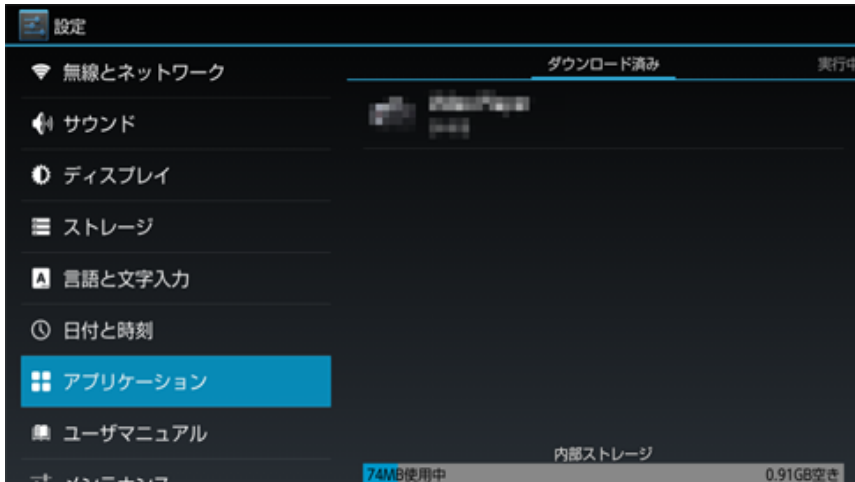
24時間表示

チェックが入っていると24時間表示になり、入っていないと12時間表示になります。

日付形式

日付が表示される形式を指定します。

アプリケーション

[設定]メニューで[アプリケーション]を選択します。

アプリケーションの情報を確認することができます。

アプリケーションの管理

「ダウンロード済みアプリケーション」 「実行中アプリケーション」

「すべてのアプリケーション」

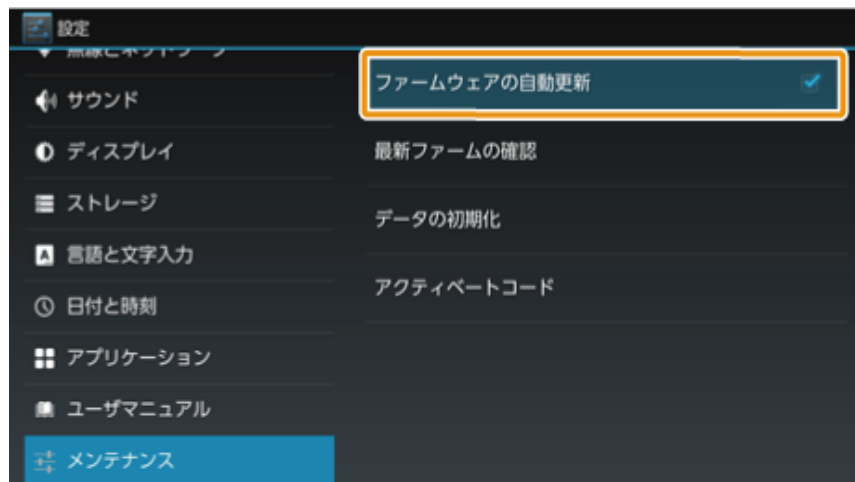
ダウンロード済みのアプリケーション、すべてのアプリケーション、実行中のアプリケーションについて、アプリケーションの管理が可能です。

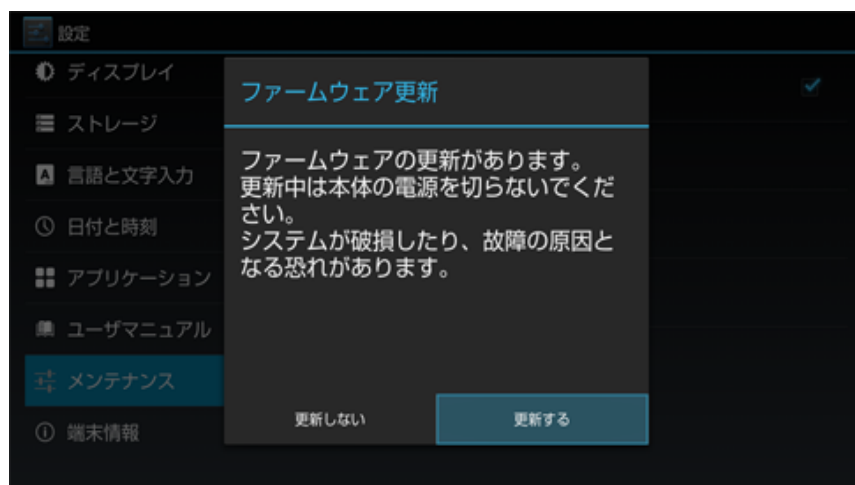
アプリケーションの強制終了またはアプリケーションのアンインストールなどができます。

メンテナンス

[設定]メニューで[メンテナンス]を選択します。

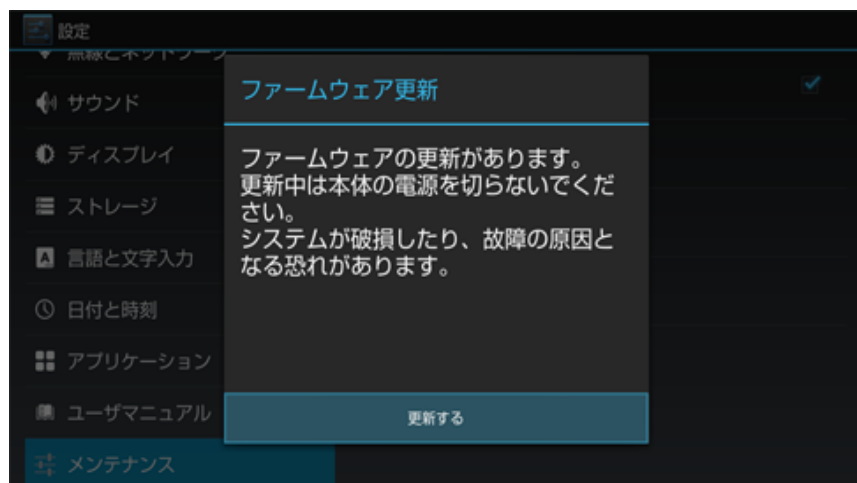
ファームウェアの自動更新

ファームウェアの更新には、自動更新と手動更新があります。

[ファームウェアの自動更新]にチェックが入っていると定期的に最新のファームウェアを確認します。最新のファームウェアがある場合はファームアップが必要なことが画面に表示されます。

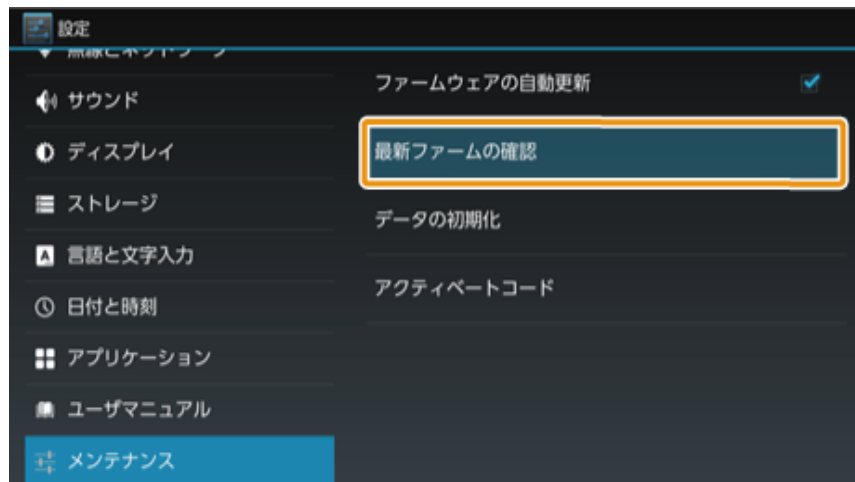
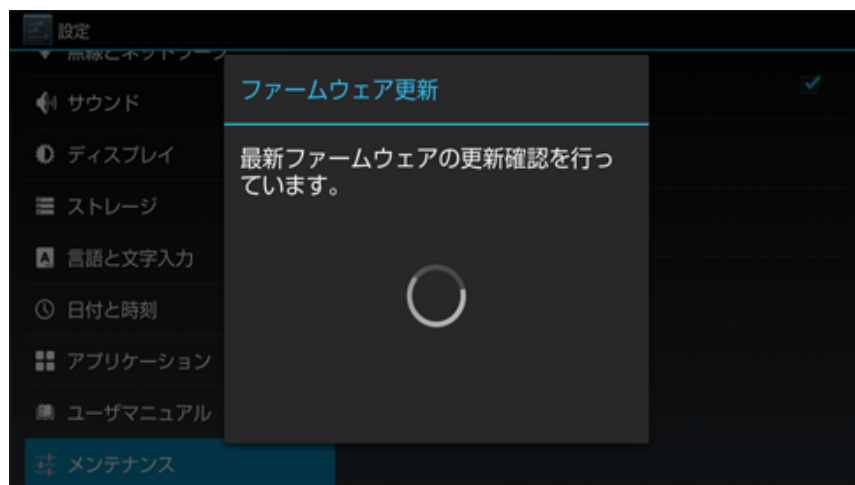
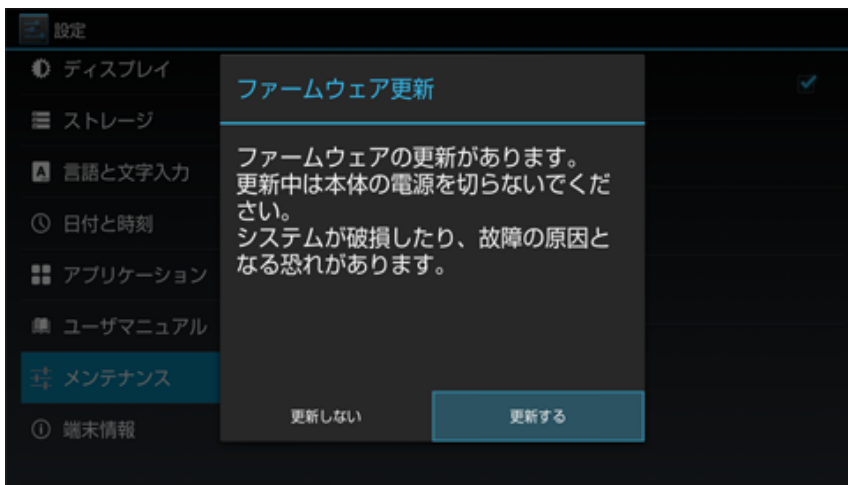
最新のファームウェアの更新

最新のファームウェアがある場合は更新するかを問う画面が表示されます。
更新する場合は[更新する]を選択します。

⚠注意 ・ファームウェア更新中は、電源アダプタの抜き差しを行わないでください。

重要なファームウェアの更新

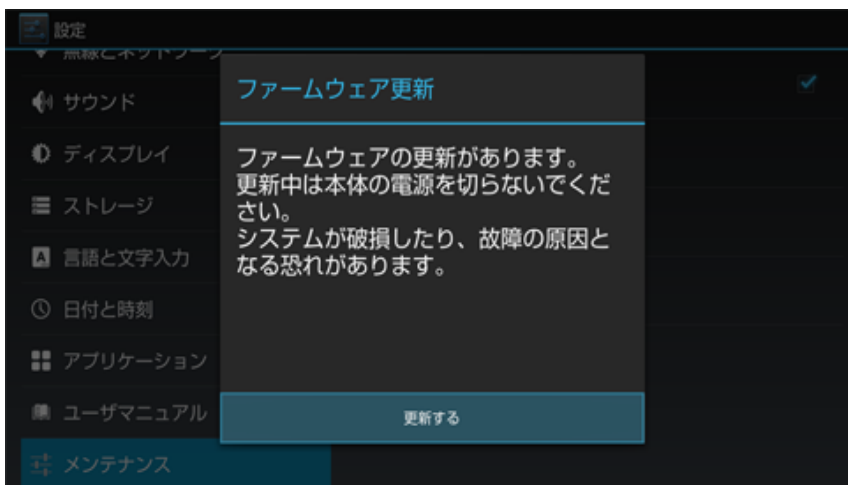
重要なファームウェアがある場合は[更新する]を選択します。

注意 ・ファームウェア更新中は、電源アダプタの抜き差しを行わないでください。

最新ファームの確認(手動更新)

[最新ファームの確認]を選択して【決定】ボタンを押します。

[最新ファームの確認]を選択するとインターネット上に最新のファームウェアがあるかを確認します。

最新のファームウェアの更新

最新のファームウェアがある場合は更新するかを問う画面が表示されます。
更新する場合は[更新する]を選択します。

注意 ・ファームウェア更新中は、電源アダプタの抜き差しを行わないでください。

重要なファームウェアの更新

重要なファームウェアがある場合は[更新する]を選択します。

注意 ・ファームウェア更新中は、電源アダプタの抜き差しを行わないでください。

データの初期化

[データの初期化]を押します。

初期化には、「①データ高速初期化」と「②データ完全初期化」の2つがあります。
初期化の方法を選択して、[初期化]を押します。

①データ高速初期化
設定したデータやインストールしたサービスをすべて削除し、工場出荷状態に戻します。

②データ完全初期化
設定したデータやインストールしたサービスを、個人情報等の復元が出来ない様にすべて削除し、工場出荷状態に戻します。
主に、本製品の譲渡や再利用を目的として使用します。

⚠注意 初期化中は本製品の電源を切らないでください。システムが破損したり故障の原因となるおそれがあります。

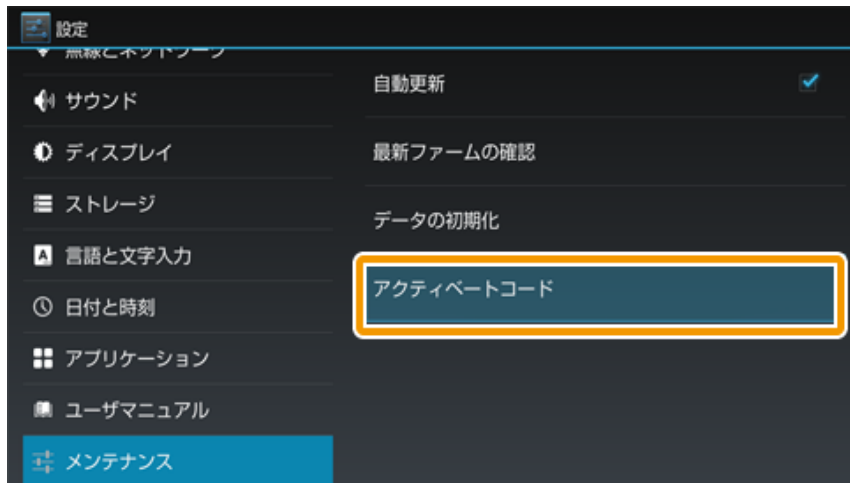
注意 本製品を初期化すると、本製品のデータすべてが削除されます。消去されるデータには次のものがあります。

•システムやサービスのデータと設定
•ダウンロードされたサービス

削除されたデータは復元できませんので、ご注意ください。
USBストレージやSDメモリーカード内のデータ（音楽や写真など）は削除されません。
データの初期化、サービスの削除が完了すると、自動的に再起動します。

本体のWIRELESSボタンによるデータ高速初期化も行えます。
初期化方法は「本体の構成」の「⑦WIRELESS」の説明をご参照ください。

アクティベートコード

注意 ・アクティベートコードは、工事保守者が設定するコードとなります。
お客さまでの設定変更はできません。

端末情報

[設定]メニューで[端末情報]選択します。端末の各種情報が確認できます。

オープンソースライセンス
オープンソースの使用許諾条件を表示します。

モデル番号
本製品のモデル番号を表示します。

ファームウェアバージョン
本製品のファームウェアバージョンを表示します。

無線LAN　MACアドレス / IPv4アドレス(サブネットマスク) / IPv6アドレス
無線LANで接続している各種アドレスを表示します。

有線LAN　MACアドレス / IPv4アドレス(サブネットマスク) / IPv6アドレス
有線LANで接続している各種アドレスを表示します。

サービスをつかう

サービスのメニューに移動します。

[ブラウザ] を選択します。

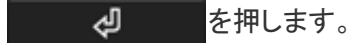
キーワードを入力して情報を検索したり、お気に入りのサイトを確認することができます。

URL入力欄

・ポインタモードの場合
画面上で【決定】ボタンを押しながら【十字キー(下)】ボタンを押します。次に、ポインタをURL入力欄に移動して【決定】ボタンを押すとソフトウェアキーボードが表示されます。
URLを入力して を押します。

・十字キーモードの場合
画面上で【十字キー(上)】ボタンを押して、ブラウザの一番上までスクロールするとURL入力欄とソフトウェアキーボードが表示されます。URLを入力して を押します。

検索欄

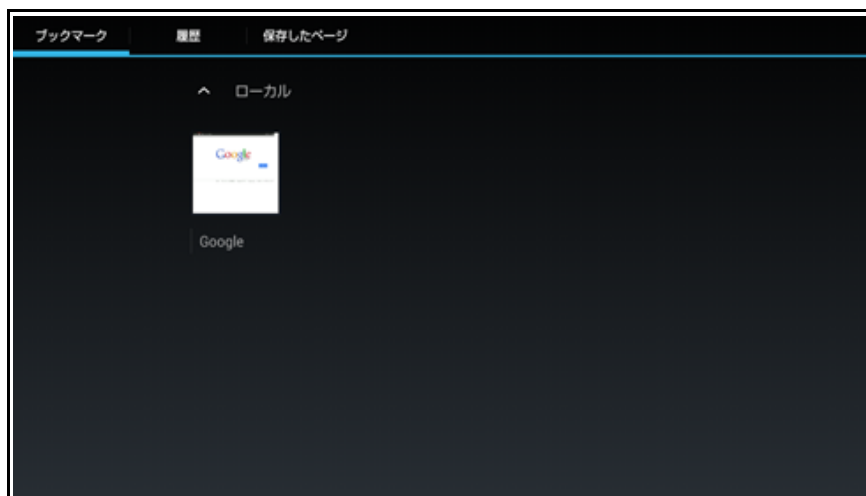
・ポインタモードの場合
検索フォーム内で【決定】ボタンを押すとソフトウェアキーボードが表示されます。次に、検索語を入力して
を押します。

・十字キーモードの場合
検索フォームにフォーカスを合わせて【決定】ボタンを押すとソフトウェアキーボードが表示されます。次に、検索語を入力して
を押します。

参考 ・文字入力方法は「文字の入力方法」をご参照ください。

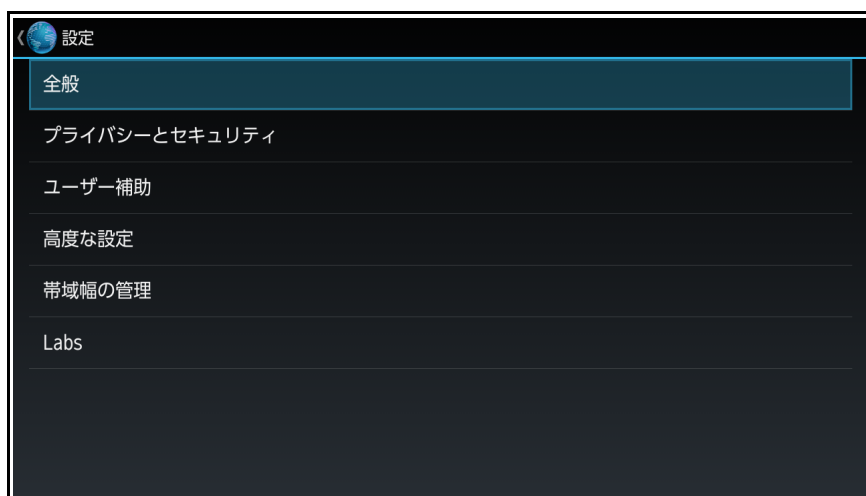
機能メニュー
【メニュー】ボタンを押すとメニューが表示されます。

①再読み込み：現在ページを再読み込みします。

②進む：【戻る】ボタンを押す前に表示していたページを表示します。

③ブックマーク：お気に入りのサイトが表示されます。
それぞれのアイコンを押すと、お気に入りのサイトに移動できます。

参考 • アイコンを選択した状態で、【決定】ボタンを押しつづけ[削除]を選択します。
次に、[OK]を押すとお気に入りのサイトが削除できます。

④ブックマークを保存：お気に入りのサイトを登録できます。
ラベルに分かりやすい名前を付けて、[OK]を押すとお気に入りのサイトが登録ができます。

⑤設定：ブラウザに関する各種設定を行えます。

コピー

🔎参考 ・本操作は、ポインタモードで実施します。

コピーしたい文字列の上にポインタを重ねて、【決定】ボタンを押しつづけます。

選択範囲は や を【決定】ボタンを押しつづけながら左右に調整します。

ペースト

🔎参考 ・本操作は、ポインタモードで実施します。

テキスト欄など、ペーストしたい場所で【決定】ボタンを押しつづけて[貼り付け]を選択します。

[ギャラリー ギャラリー]を選択して、動画を再生したり、写真をみることができます。

SDメモリーカードやUSBストレージを本製品に挿入する

本製品が電源OFFの状態、もしくはホーム画面を表示させた状態で、SDメモリーカードやUSBストレージを本製品に挿入してください。

SDメモリーカードを本製品から取り外す

SDメモリーカードを安全に本製品から取り外すには、以下の2つの方法があります。

①電源**OFF**の状態で行う
本製品の電源がOFFの状態で、SDメモリーカードを本製品から取り出してください。

②マウントの解除を行う
[設定]メニューから[ストレージ]を選択し、[SDカードのマウント解除]を選択します。

[OK]を選択し、【決定】ボタンを押した後に、SDメモリーカードを製品から取り出してください。

USBストレージを本製品から取り外す

USBストレージを安全に本製品から取り外すには、以下の2つの方法があります。

①電源**OFF**の状態で行う
本製品の電源がOFFの状態で、USBストレージを本製品から取り出してください。

②マウントの解除を行う
[設定]メニューから[ストレージ]を選択し、[USBストレージのマウントを解除]を選択します。

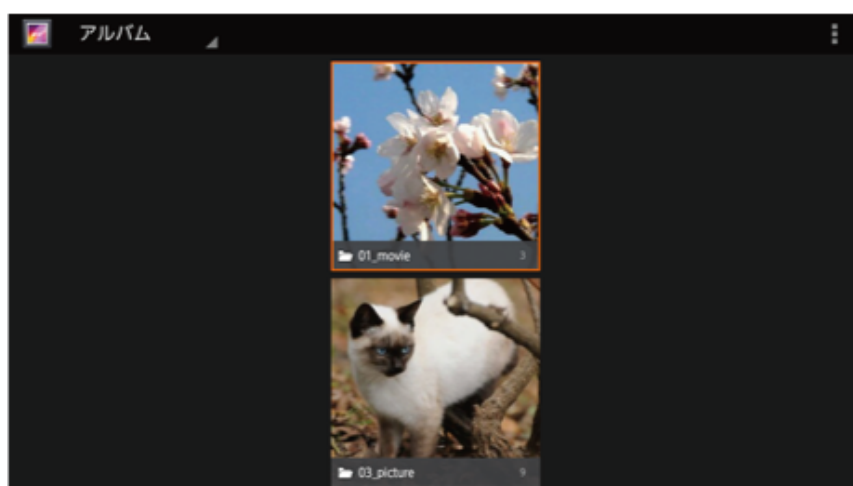
[OK]を選択し、【決定】ボタンを押した後に、USBストレージを本製品から取り外してください。

参考 ・USBストレージはUSBポートに挿入した順番で、本設定画面の「USBストレージ(#1)」、「USBストレージ(#2)」に表示されます。

写真をみる

・本マニュアルでは、ポインタモードでの操作方法について説明します。
・SDメモリーカードやUSBストレージを本製品に挿入する/取り外す場合は、「SDカード・USB機器にあるメディアをみる」をご参照ください。
・USBストレージはUSBポートに挿入した順番で、ギャラリー内で「USB0」、「USB1」と名付けられます。
USBストレージ内に写真データが入ったフォルダーが存在する場合、フォルダー名が表示されます。

ギャラリーの画面構成

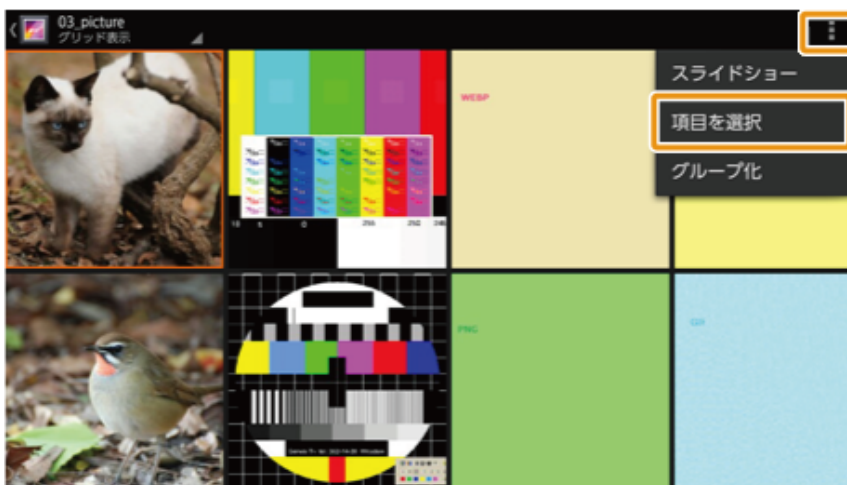
[ギャラリー]を選択します。
SDメモリーカードやUSBストレージに保存された、メディアファイルおよびフォルダーが表示されます。

写真をみる

上の画面で写真が保存されたフォルダーを選択して【決定】ボタンを押します。

参考 • アイコンを選択し、【決定】ボタンを押すと該当フォルダーに移動します。

【十字キー】ボタンで写真を選択し、【決定】ボタンを押すと全画面表示されます。

写真を削除する

① 一覧表示で複数の写真を削除
[項目を選択]を選択します。

次に、削除する写真にカーソルを移動し、【決定】ボタンを押して写真を選択します。
選択解除を行う場合は、再度【決定】ボタンで選択します。

最後に、画面右上の を押し、[OK]を押します。

・画面上部の[0件選択済み]で【決定】ボタンを押すと、すべてのファイルを選択/選択解除できます。

② 写真閲覧時に写真の削除
写真閲覧時に【メニュー】ボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。
[削除]を選択して[OK]を押すと、閲覧している写真が削除されます。

機能メニューを使う

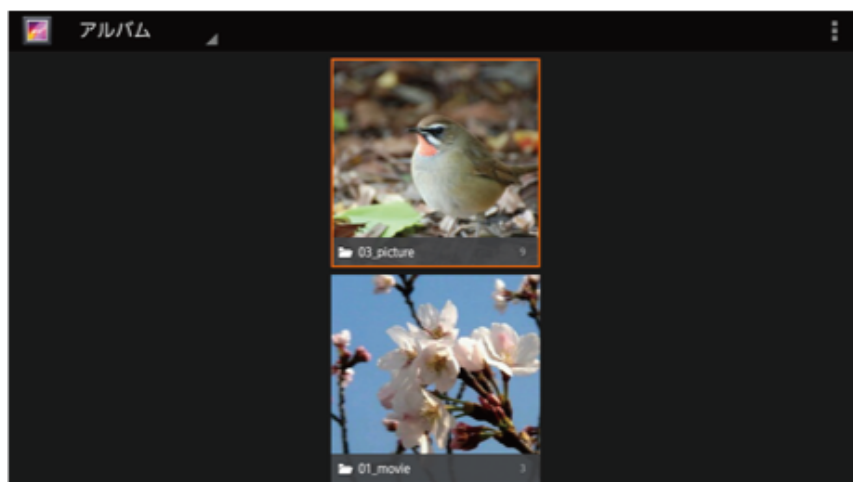
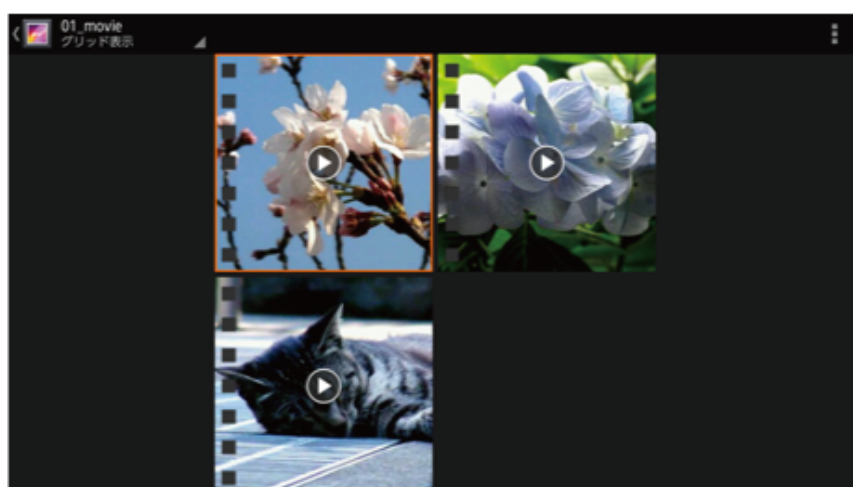
写真を全画面表示している状態で、【メニュー】ボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。

① 削除 : ファイルを削除します。
② スライドショー : スライドショーを開始します。
③ 編集 : 様々な画像編集を行うことが出来ます。
④ 左に回転 : 画像を左に90°回転します。
⑤ 右に回転 : 画像を右に90°回転します。
⑥ トリミング : 画像の必要な部分を拡大して切り抜く事が出来ます。
⑦ 詳細情報 : 画像の詳細情報を表示します。

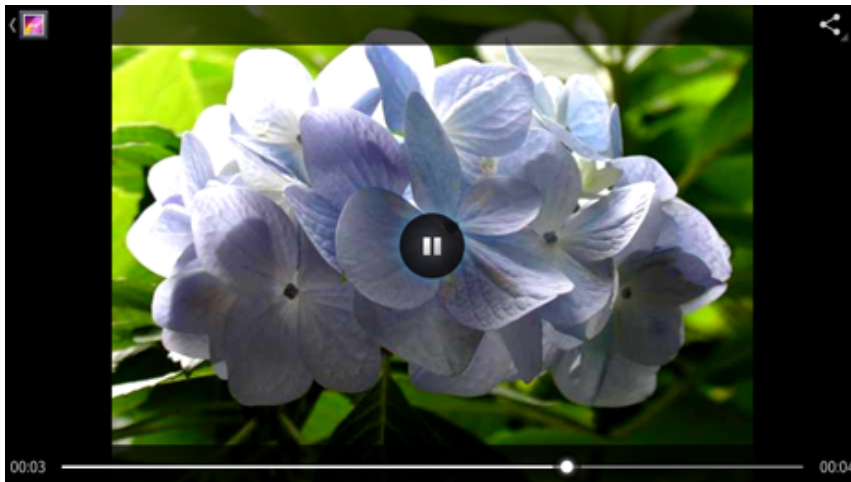
動画をみる

・本マニュアルでは、ポインタモードでの操作方法について説明します。
・SDメモリーカードやUSBストレージを本製品に挿入する/取り外す場合は、「SDカード・USB機器にあるメディアをみる」をご参照ください。
・USBストレージはUSBポートに挿入した順番で、ギャラリー内で「USB0」、「USB1」と名付けられます。
USBストレージ内に動画ファイルが入ったフォルダーが存在する場合、フォルダー名が表示されます。

ギャラリーの画面構成

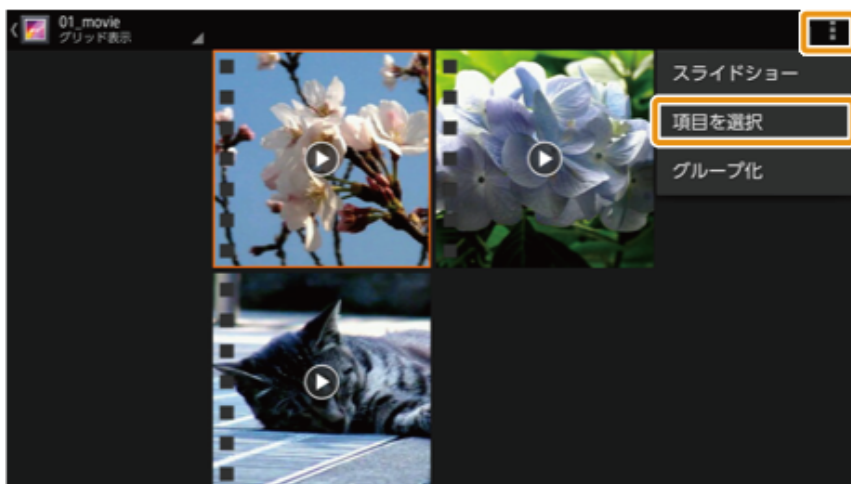
[ギャラリー]を選択します。
SDメモリーカードやUSBストレージに保存された、メディアファイルおよびフォルダーが表示されます。

上の画面で動画が保存されたフォルダーを選択して【決定】ボタンを押します。

参考 ・アイコンを選択し、【決定】ボタンを押すと該当フォルダーに移動します。

動画を再生する

【十字キー】ボタンで動画ファイルを選択し、【決定】ボタンを押すと再生画面が表示されます。
次に、▶を押すと、動画が再生されます。

参考
• 【決定】ボタンを押すと画面下部に、再生バーが表示されます。
• 再生バーを左右に動かすと、巻き戻し/早送りができます。

機能メニューを利用する

【メニュー】ボタンを押すと機能メニューが表示されます。

①一覧表示で複数の動画ファイル削除
[項目を選択]を選択します。

次に、【決定】ボタンで削除する動画ファイルを選択します。
選択解除を行う場合は、再度【決定】ボタンで選択します。

最後に、画面右上の🗑を押し、[OK]を押します。

参考 • 画面上部の[0件選択済み]で【決定】ボタンを押すと、すべてのファイルを選択/選択解除できます。

②動画再生画面での削除
動画再生画面で【メニュー】ボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。
[削除]を選択して[OK]を押すと、動画ファイルが削除されます。

- 下記に表示している画面表示が異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、ポインタモードでの操作方法について説明します。

ミュージックプレーヤーの画面構成

[音楽]を選択します。

ミュージックプレーヤーが実行されます。

「カテゴリー」

 曲をアーティストで分類します。分類された項目を選択すると、含まれている曲が表示されます。

 曲をアルバムで分類します。分類された項目を選択すると、含まれている曲が表示されます。

 再生可能な曲がすべて表示されます。【メニュー】ボタンを押すと表示された全ての曲に対し、すべて再生 パーティシャッフル すべてシャッフルを指定することも可能です。

 プレイリストが表示されます。プレイリストを選択すると、登録された曲が表示されます。

 再生中の曲が表示されます。曲の再生コントローラ及び曲の情報が表示されます。

音楽再生

リストから【十字キー】ボタンで曲を選択して【決定】ボタンを押すと、再生が開始されます。
また、リストから聴きたい曲を選択後【決定】ボタンを押しつづけ、[再生]を選択して曲を再生することも可能です。

再生コントローラを使用して、前の/次の曲への移動、一時停止/再生を実行することができます。

再生開始から1秒以内に選択すると、リストの前の曲を再生します。【決定】ボタンを押しつづけると巻戻ります。それ以外は、曲の最初から再生します。

曲を再生します。曲が再生されると一時停止ボタンに変わります。

再生中の曲を一時停止します。曲が一時停止されると再生ボタンに変わります。

【決定】ボタンを押しつづけると早送りします。それ以外は、次の曲を再生します。

繰り返し再生を設定する

①全曲繰り返し再生

再生中の画面から を選択すると、「全曲繰り返し」オプションが設定されます。(ボタンが に変更)
「全曲繰り返し」オプションが設定されると、リスト内のすべての曲が繰り返し、順に再生されます。

②一曲繰り返し再生

再生中の画面から を選択すると、「一曲繰り返し」オプションが設定されます。(ボタンが に変更)
「一曲繰り返し」オプションが設定されると、現在再生中の曲だけ繰り返し再生します。

③繰り返し再生解除

再び を押すと、繰り返し再生のオプションが無効になります。(ボタンが に変更)
※再生できない曲が含まれている場合、繰り返し再生はストップされます。

ランダム再生を設定する

①パーティシャッフル

再生可能な全ての曲をランダムに再生します。
再生中の画面から【メニュー】ボタンを押して パーティシャッフル を選択すると、「パーティシャッフル」オプションが設定されます。(ボタンが に変更)
【メニュー】ボタンを押し パーティシャッフルOFF を押すと、[パーティシャッフル]オプションが無効になります。

②シャッフル

リスト内の曲をランダムに再生します。
再生中の画面から【メニュー】ボタンを押して を選択すると、「シャッフル」オプションが設定されます。(ボタンが に変更)
再び を押すと、「シャッフル」オプションが無効になります。(ボタンが に変更)

参考 •「パーティシャッフル」と「シャッフル」オプションは、重複して設定することはできません。

プレイリストに曲を追加する

よく聴く好きな音楽をプレイリストとして追加して、自分だけのアルバムが作れます。

①再生中の曲をプレイリストに追加する
曲の再生中の状態で【メニュー】ボタンを押して プレイリストに追加 を選択します。

[新規]を選択して、新規プレイリストを生成します。

参考 • 既存のプレイリストを選択すると、選択した既存のプレイリストに曲が追加されます。

プレイリスト名は、ユーザが自由に指定できます。
プレイリスト名を編集し[保存]を押すと新規プレイリストに再生中の曲が追加されます。

参考 •文字入力方法は「文字の入力方法」をご参照ください。

②リストから曲をプレイリストに追加する
リストの曲を選択し【決定】ボタンを押しつづけ[プレイリストに追加]を選択して、その曲をプレイリストに追加します。その後の操作は、上記①と同様です。

③プレイリストから曲を削除する
[プレイリスト]カテゴリーで登録されたプレイリストを押すと、追加された曲が表示されます。曲を選択し【決定】ボタンを押しつづけ[プレイリストから削除]を選択すると削除されます。

④プレイリストを削除する
[プレイリスト]カテゴリー内で、削除するプレイリストを選択し【決定】ボタンを押しつづけ[削除]を選択すると、プレイリストが削除されます。

⑤プレイリストの名前を変更する
[プレイリスト]カテゴリー内で、名前を変更するプレイリストを選択して【決定】ボタンを押しつづけ[名前を変更]を選択すると、プレイリストの名前を変更できます。

音楽ファイルを削除する

①再生中の音楽ファイルを削除する

曲の再生中の状態で【メニュー】ボタンを押して を選択し[OK]を押すと、再生中の音楽ファイルを削除できます。

②リストから音楽ファイルを削除する

「プレイリスト」以外のカテゴリーから曲を選択し【決定】ボタンを押しつづけ、[削除]を選択し[OK]を押すと、音楽ファイルを削除できます。

• 削除した音楽ファイルはストレージから完全に削除されるのでご注意ください。

本製品をご利用にあたって

本編には製品を設置し基本的な設定をするときに必要な情報が記載されています。

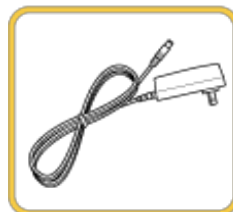
よくお読みになってから本製品を正しくご使用ください。

構成品の確認

製品を受け取った後は以下の付属品をご確認ください。

HB-1000本体

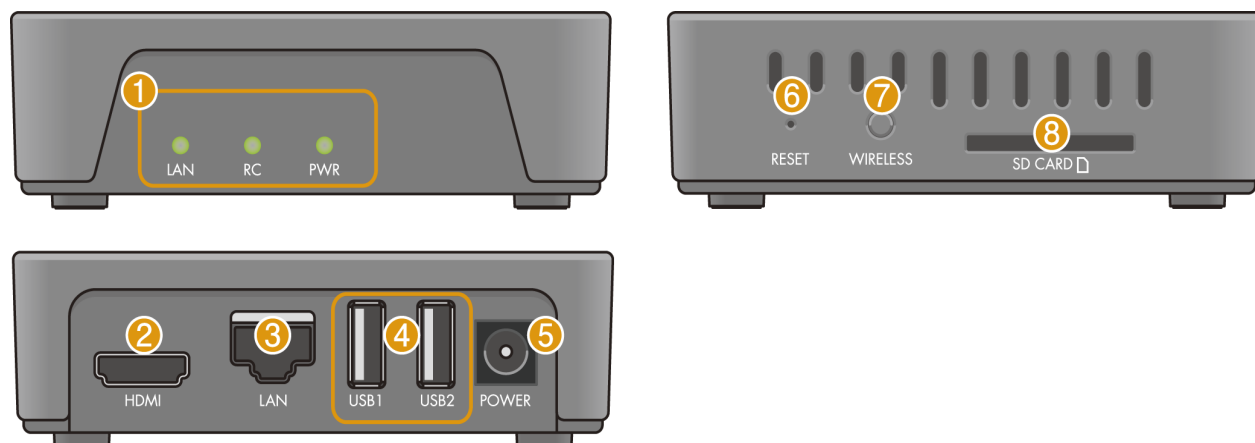
リモコン
乾電池含む

取扱説明書等一式

電源アダプタ

HDMIケーブル

※有線でご利用の場合、LAN ケーブル（カテゴリー5eもしくはカテゴリー6）はお客様ご自身でご用意ください。
※イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本体の構成

本体の構成について説明します。

① LED - 本装置のLAN、RC(本体とリモコンの接続)、電源の動作状態などが確認できます。

② HDMI - HDMIケーブルでテレビと接続します。

③ LAN - ひかり電話対応ルーター等と接続します。

④ USB1/USB2 - USBストレージなど外部USB機器を接続できます。

⑤ POWER - 電源アダプタを接続します。

⑥ RESET - 細い棒のようなもので穴の奥のリセットボタンを押すと再起動します。

⑦ WIRELESS -
・押しながら電源アダプタに接続後、そのまま20秒以上押しつづけることで初期化します。
・「WIRELESS」ボタンを押しながらの初期化は、データ高速初期化となります。
・3～10秒未満押しつづけると、無線かんたん設定のプッシュボタン機能として動作します。
　※無線LANで接続した場合のみ有効です。
・本体が待機状態で10秒以上押しつづけるとリモコンのペアリングを開始します。

⑧ SD CARD - SDカードを挿入できます。

LED動作

LEDの動作について説明します。（本製品が電源に接続されている場合）

LED	色	動作	説明
LAN	緑	点灯	ひかり電話対応ルーター等に接続しています。
		点滅	無線かんたん設定を実行中です。
		消灯	ひかり電話対応ルーター等に接続していません。
RC	緑	点灯	リモコンがペアリングされています。
		点滅	リモコンのペアリングが実行中です。
		消灯	リモコンがペアリングされていません。
PWR	緑	点灯	本製品が起動しています。
		点滅	WIRELESSボタンからの初期化処理を実行中です。
		消灯	休止モード中です。

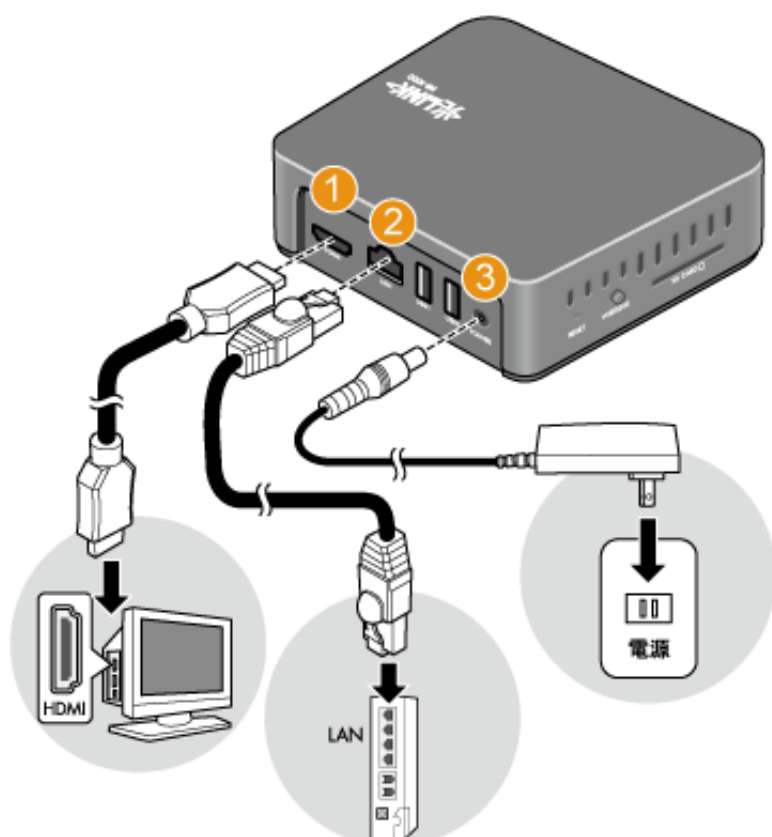
⚠注意

•ご利用中にリモコン側でペアリングが外れた場合、「RC」LEDが点灯している場合があります。
ペアリングが外れていた場合は、本マニュアルの「リモコンの準備」の「本体とリモコンの手動接続方法(本体ペアリング)」に沿ってペアリングを実施してください。

製品設置とケーブルの接続

製品の設置

本体をテレビの近い場所に置いた後、次の方法に従ってケーブルを接続してください。

参考 •製品を設置するときは、本体をテーブルの上など地面から離れたところに置いてください。

① 付属のHDMIケーブルを使用して、本体背面のHDMIポートとご利用になられるテレビのHDMI端子を接続してください。
※テレビの接続口がみつからない場合はテレビの取扱説明書を参照してください。

テレビの電源を入れ、入力切換を行ってください。

HDMIケーブルを接続したテレビのHDMIを選択してください。

② LANケーブルを使用し、ご利用のひかり電話対応ルーター等のLANポートと本体背面のLANポートを接続してください。
※無線LAN接続を行う場合は必要ありません。
※ひかり電話対応ルーター等がインターネットに接続されていることを確認してください。

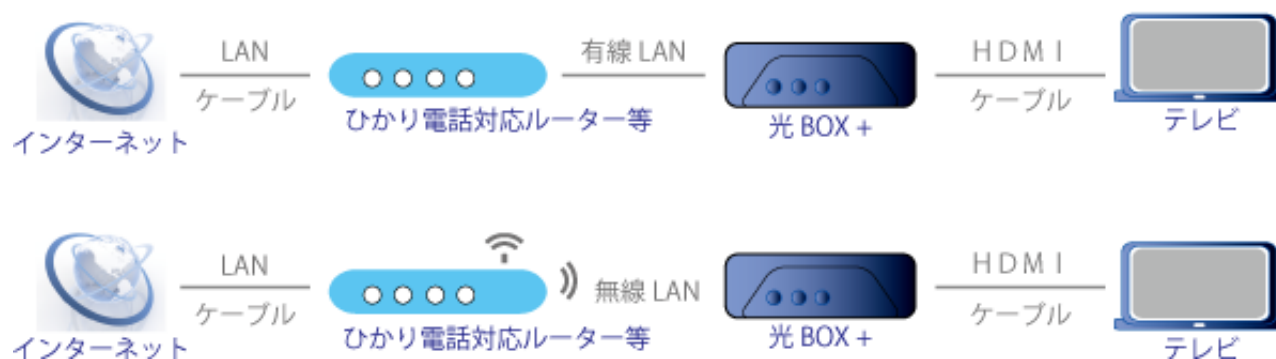
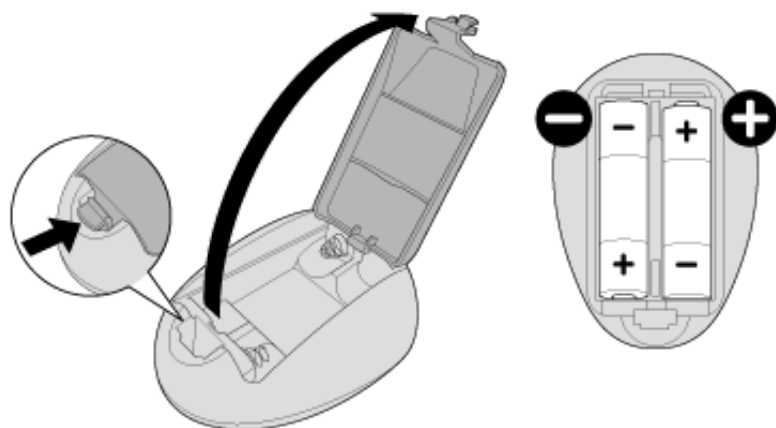
③ 付属の電源アダプタは必ず①②の後につないでください。
テレビとひかり電話対応ルーター等への接続が正しく行われていることを確認してから電源アダプタを本体背面の電源端子と電源に接続してください。
※付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

•HDMI端子の付いているテレビのみご利用できます。

•HDMI端子がある場合でも、一部のテレビやモニターはサポートされない場合があります。

•付属のHDMIケーブル以外のケーブルを使用すると、画面が点滅したり映らない場合があります。

ケーブル接続の例

次はインターネットの使用環境によるLANケーブルおよびHDMIケーブルの接続例です。

乾電池を入れる方法

① 固定フックを押してカバーを外します。
② 乾電池を＋とー方向に合わせて挿入します。
③ カバーを閉めます。カバーの上側をリモコンの溝に差し込んで下側を押します。

参考 •単3形の乾電池を使用します。

注意 •リモコンに乾電池を挿入するときは＋とーを間違えないようにご注意ください。

•長期間使用しない場合はリモコンから乾電池を外してください。液もれの原因となります。

本体とリモコンの手動接続方法(本体ペアリング)

① 本体のWIRELESSボタンを10秒以上押しつづけます。

② 本体の「RC」LEDが点滅することをご確認ください。（確認できれば①の操作は終了）

③ 【ポインタ】ボタンと【ユーティリティ】ボタンを同時に5秒以上押しつづけます。

④ 「RC」LEDが緑点灯となったら、リモコンと本体のペアリングは完了です。

参考 •ペアリングするときは本体とリモコンを1メートル以内に近づけてください。
•ペアリングが完了するまで、30～40秒かかります。

注意 •ペアリング完了後、【ポインタ】ボタンと【ユーティリティ】ボタンを同時に5秒以上押しつづけると、リモコンが初期化されペアリングが外れます。
•ペアリングが外れた場合、①～④に沿って再度ペアリングを実施してください。

初期設定時の接続方法(本体ペアリング)

① 初期設定の画面にペアリングの案内が表示されます。

② 画面の指示にしたがって【ポインタ】ボタンと【ユーティリティ】ボタンを同時に5秒以上押しつづけます。

③ 「RC」LEDが緑点灯となったら、リモコンと本体のペアリングは完了です。

•ペアリングするときは本体とリモコンを1メートル以内に近づけてください。
•ペアリングが完了するまで、30〜40秒かかります。

•ペアリング完了後、【ポインタ】ボタンと【ユーティリティ】ボタンを同時に5秒以上押しつづけると、リモコンが初期化されペアリングが外れます。
•ペアリングが外れた場合、本体とリモコンの手動接続方法①〜④に沿って再度ペアリングを実施してください。

初期設定

テレビ接続の準備

まずテレビの電源を入れ、テレビリモコンの「入力切換」を押して本体が接続されている入力モードに切り換えてください。

•本体が接続されている入力の名前は、テレビのHDMI端子に記載されています。「HDMI」や「入力1」などお持ちのテレビの種類によってその名前は違うことがあります。

初期設定

製品を使用する前に設定が必要な項目がいくつかあります。下記の各項目を確認してからご使用ください。

リモコンと本体の接続

詳しい設定方法はリモコンの準備をご参照ください。

ネットワーク接続

詳しい設定方法は無線とネットワークをご参照ください。

本体について

質問	回答
本製品で何ができる？	テレビに接続してインターネット、動画、マップ及び各種サービスが利用できます。
テレビは何でも使える？	HDMI端子の付いているテレビのみ使用できます。ただし、ご利用環境によっては、画面表示が遅くなったり、表示が乱れたり、接続機器との連動などが正しく動作をしない場合があります。
パソコンのモニターでも使える？	HDMI端子の付いているモニターのみ使用できます。ただし、ほとんどのモニターの場合はスピーカが内蔵されていないため音声が出ません。
インターネット接続は必要？	インターネットの動画配信サービス、地図サービスなどを利用するためには、インターネット接続が必要になります。
無線LANルーターは必要？	無線LANを使用する場合は必要です。
文字入力はどうできる？	・文字入力欄にポインタを置き、【決定】ボタンを押すとソフトウェアキーボードが表示されます。【十字キー】ボタンを利用して入力する文字までカーソルを移動し、【決定】ボタンを押すことで文字を入力できます。 ・推奨するUSBキーボードでの文字入力も可能です。推奨するUSBキーボードについては、本製品の公式ホームページをご確認ください。
USB端子は何に使える？	ストレージなどの外部USB装置を接続して使用できます。
SDメモリーカードやUSBストレージに本製品にダウンロードしたファイルを保存できる？	いいえ、保存できません。
プリンタは使える？	いいえ、基本的にプリンタ接続はできません。
本体1機にテレビは何台まで接続できる？	接続できるテレビは1台です。
Skypeなどインターネット電話は使える？	いいえ、インターネット電話は利用できません。
Flashコンテンツの再生はできる？	はい、Flashコンテンツの再生はできます。

インターネットについて

質問	回答
一般的なホームページをみることができる？	はい、一般的なホームページはみることができます。
インターネットショッピングは利用できる？	はい、ご利用できます。ただし、サイトによって利用できない場合もあります。
お気に入りは登録できる？	はい、お気に入りの登録ができます。

動画について

全画面再生はできる？	はい、可能です。プレビュー画面を選択して【決定】ボタンを押すと全画面で動画が再生されます。
動画の早送り/巻き戻し/一時停止はできる？	動画を再生するとき【十字キー】ボタンを押して操作できます。また、再生バーのボタンを利用して操作できます。
インターネットで動画を検索してみることができる？	はい、ブラウザで動画をみられるサイトに接続してみることができます。

故障かなと思ったら

映像が表示されない。	•テレビの電源が入っていることを確認してください。 •本体の電源コンセントをプラグにしっかり差し込んでください。 •テレビの入力モードが正しく設定されているか確認してください。 •HDMIケーブルの接続状態を確認してください。 •解像度設定がテレビでサポートされない場合があります。テレビがサポートする解像度を超えて設定すると画面が表示されません。この場合、本体を初期化してください。
映像は表示されるが音声が出ない。	•テレビの音量を調節してください。 •[設定]メニューの[サウンド]ー[音量の設定]で音量を調整してください。 •スピーカが内蔵されていないモニターの場合は音声が聞こえません。
リモコンが操作できない。	•リモコンペアリングを再実行してください。 •本体の前に障害物がないかを確認してください。 •本体に近づけて操作してください。 •リモコンの乾電池を交換してください。
インターネット・動画・地図が正しく表示されない。	•LANケーブルの接続状態を確認してください。 •有線LANや無線LANが正しく設定されているかを確認してください。 •ホームページのアドレスが正しく入力されているかを確認してください。 •ブラウザのテキストエンコードが日本語で指定されていることを確認してください。 •表示しているホームページを再読み込みしてください。

製品仕様

項 目	仕 様
メモリー	4GB NAND フラッシュ/1GB DDR3-800MHz
有線LANポート	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T ×1
テレビ出力	HDMI ×1
USBポート	USB（2.0）×2
SDカードスロット	SDカードスロット ×1（対応ファイルフォーマット：FAT16/FAT32）
無線LAN	IEEE802.11b/g/n
その他インターフェース	RESETボタン/WIRELESSボタン/LEDインジケーター/Bluetooth4.0
消費電力	最大15W
動作温度/湿度	0～40℃ / 15～85%
寸法(W x D x H)	115mm x 105mm x 31.5mm

※外観・仕様などの改良のため、予告なしに変更する場合があります。

注意事項

全般	・本製品の電源を切る際は、必ずシャットダウンを実施してください。 「電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。」が画面表示された後、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。 ・ご利用状況によっては、本製品が不安定になる場合もありますので、その際は、本製品の再起動をお願いいたします。
ブラウザ	・ファイル名の長いファイルをダウンロードする際、ファイル名が正常に表示されない場合があります。 ・WEBサイトによっては、画像を正常にダウンロードできない場合があります。 ・WEBサイトによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。 ・AdobeReader、JAVA等のプラグインには対応していません。
ギャラリー	非常に大きな画像の場合、ギャラリーアプリで表示/編集ができない場合があります。
HDMI	・本製品が休止モード中、HDMIケーブルを挿すと、休止モードが解除される場合があります。 ・テレビによっては、テレビの電源を入れたタイミング等で本製品の休止モードが解除される場合があります。 ・HDMI 端子の付いているテレビのみ使用できます。ただし、ご利用環境によっては、画面表示が遅くなったり、表示が乱れたり、接続機器との連動などが正しく動作をしない場合があります。 ・ご利用環境によってはテレビに砂嵐画面が表示される場合があります。
アプリケーション	[設定]メニューの[アプリケーション]で、各アプリケーションを終了させると、サービスが正しく動作しなくなる場合があります。
動画再生・ 音楽/音声再生	・動画によっては、一部再生できないものがあります。 ・音楽/音声によっては、一部再生できないものがあります。

SDカード/USBメモリ/USBハードディスク	・SDカードスロットの対応ファイルフォーマットは、FAT16 / FAT32 です。ただし、全ての製品との動作保証をするものではありません。 ・最大で、利用できるUSBメモリ/USBハードディスクは2つです。 ・全てのUSBメモリ/USBハードディスク製品との動作保証をするものではありません。 ・データの読み込み中、書き込み中、アクセス中に、SDカード/USBメモリ/USBハードディスクを本製品から取り外したり、本製品の電源をOFFにしたりしないでください。SDカード/USBメモリ/USBハードディスクに保存されているデータまたは本製品にて作成中のデータが壊れる場合や本製品が正常に動作しない場合があります。 USBメモリのデータ消失に関して、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。 ・多数のファイルが保存されている SD カード/USB メモリ/USBハードディスクを挿入した場合、読み込みに時間がかかることがあります。その間、他の操作および処理が正常に行われない場合があります。
お客様データ	・本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本製品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。 本製品を廃棄(または譲渡)される場合は、本製品内のデータを必ず消去してください。データを消去するには、[設定]メニューの[メンテナンス]ー[データの初期化]で「②データ完全初期化」を実施してください。 ・本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本製品に登録された情報内容や保存したデータが消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容などは別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。また、重要なデータは外部メモリ(SDカード、USB メモリなど)に保管くださるようお願いします。
無線LAN	・無線LAN では、セキュリティに関する設定を行っていない場合、第3者より、通信内容を盗みみられたり、不正に侵入される場合があります。お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。なお、無線LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解の上ご使用ください。 また、他機能についても、お客様が端末のセキュリティの設定を行わず、セキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。 ・無線LAN接続ができない場合は、[設定]メニューの[無線とネットワーク]の無線LANのチェックを一度外し再度チェックを入れてください。
Flash	Flashのコンテンツを再生することができます。ただし、全てのコンテンツ再生を保証するものではありません。

安全上のご注意

本製品をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

•この取扱説明書および製品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。

•内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

本製品の使用周波数では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運営されていないことを確認して下さい。

2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、保証書記載の連絡先へお問い合わせ頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、保証書記載の連絡先へお問い合わせ下さい。

本製品は、一般財団法人 VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

免責事項

お客様もしくは第三者が本製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、海外の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本製品は、輸出貿易管理令別表第 **1-9(7)** 項に定める輸出規制品に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の輸出許可等必要な手続きをお取りください。許可手続きなどにあたり特別な資料が必要な場合は、当社のお問い合わせ先窓口へご相談ください。

This system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。

警告

警告

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

▶ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の上に花びん等、水の入った容器を置かない

▶ 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

▶ 火災・感電の原因となります。

本製品に水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

▶ 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は、特にご注意ください。

電源コードに重いものを載せたり、本製品の下敷きにしたりしない

▶ 火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

▶ 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

▶ 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物が入ったときは、本製品の電源を切り、電源プラグを抜く

▶ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
販売店にご連絡ください。

付属の電源アダプタ、電源コード以外は使用しない

▶ 付属以外の電源アダプタ、電源コードを使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードを使わない

▶ 延長コードを使用すると火災・感電・故障の原因となるおそれがあります。

付属の電源アダプタ、電源コードは他の製品に使用しない

▶ 他の製品に付属の電源アダプタ、電源コードを使用すると火災・感電・故障の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本製品の電源を切り、電源プラグを抜く

▶ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
販売店にご連絡ください。

本製品のキャビネットを外したり、改造したりしない

▶ 内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

異物を入れない

▶ 通風孔（キャビネットのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本製品の電源を切り、電源プラグを抜く

▶ 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
▶ お客様自身による修理は絶対におやめください。

不安定な場所に置かない

▶ 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

電源プラグは、ゆるみがあるコンセントには接続しない

▶ 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

▶ 電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

雷が鳴り出したら、プラグに触れない

▶ 落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

電池についての安全上のご注意

▶ 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

▶ 電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

▶ 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池は幼児の手の届く所に置かない

▶ 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

▶ 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

▶ 電池の液をなめた場合には、すぐうがいをして医師に相談してください。
▶ 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または銘柄や種類の違う電池を混ぜて使わない

▶ 電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス(+)とマイナス(-)の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

▶ 間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の（＋）と（－）を針金などで接続したり、また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

▶ 電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして電池を液もれ、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

▶ 電池を入れたままにしておくと、電池から発生するガスまたは過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

注意

電源プラグは確実に差し込む

▶ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

▶ 感電の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

▶ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

▶ 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

▶ 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

▶ 火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

▶ 感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

▶ コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

▶ 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

▶ 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源プラグ（又は電源アダプタ）は、ホコリが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグ（又は電源アダプタ）を点検してください

▶ホコリにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

健康のために次のことをお守りください

▶ 使用中に肩こり、疲労など違和感を感じた場合は適宜休憩してください。

▶ ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

電池の保存方法

▶ プラス(＋)、マイナス(－)の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

電池の廃棄方法

▶ 不要となった電池は、NTT窓口にお持ちいただくか、また、NTT販売担当者にお渡しいただければ廃棄します。（電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄して下さい。）

電池に直接はんだ付けをしないでください

▶ 熱により絶縁物などを損傷させたりして、電池を液もれ、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください

▶ 電池を液もれ、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください

▶ 電池を液もれさせるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください

▶ 他の電池や金属製のものと混ぜると、液もれ、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池の使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください

▶ 電池を液もれ、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください

▶ 電池を液もれ、発熱、破裂させるおそれがあります。

セキュリティに関するご注意

▶ セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任を一切負いかねますので、予めご了承ください。

キャビネットのお手入れのしかた

▶ 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
▶ 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
▶ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
▶ キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質したり、塗料がはげることがあります。
▶ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

取り扱い上のご注意

▶ 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用が制限されている場所

▶ 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

設置について

▶ 発熱する機器の上には本製品を置かないでください。
▶ 本製品の上には物を置かないでください。
▶ 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。

本製品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください

禁止

本製品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類や虫が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあるため、すぐに電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へ修理をご依頼ください

本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります

禁止

また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください

本商品を次のような環境に置かないでください。火災、感電、故障の原因となる場合があります

▶ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度の上がる場所
▶ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
▶ 湿気の多い場所や水、油、薬品などのかかる恐れがある場所
▶ ごみやホコリの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
▶ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
▶ 硫化水素が発生する場所（温泉地）
▶ 塩分の多い場所（海岸）

使用温度について

▶ 周囲温度は0℃～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

電磁波妨害に注意してください

▶ 本製品の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

結露（つゆつき）について

▶ 本製品を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。
▶ 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本製品の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

本製品を電気製品、**AV・OA** 機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところからなるべく離してください。（電子レンジ、スピーカー、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理機器など）

▶ 磁気や電気の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなる場合があります。特に電子レンジ使用時には影響を受ける場合があります。
▶ ラジオなどに近いと受信障害の原因となったりする場合があります。
▶ 放送局や無線局などが近く、雑音などが大きいときは、本製品の設置場所を移動してみてください。

GPL・LGPLに関するお知らせ

本装置に格納されているプログラムには、GNU General Public License(GPL)または GNU Lesser Public License(LGPL) にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本装置に格納されているプログラムのライセンス対象ソースコードは、ご要望に応じて媒体提供いたします。

提供を希望される場合は、下記Webサイトをご確認いただき、記載されているご案内に沿ってお問い合わせください。

なお、媒体提供の際に別途実費を申し受ける場合があります。

Webサイト(http://www.oki.com/jp/gw/gpl_lgpl/)

「最終使用者ライセンス同義**(EULA: End User License Agreement)**」

重　要:セットトップボックス（以下「本STB」といいます。）をご使用になる前に、このエンドユーザーライセンス契約を注意深くお読みください。本STBに搭載されているソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます。）をご使用すること、および、弊社が別途指示する方法でウェブサイトを介して本ソフトウェアをアップブレードすることは、お客様がこのエンドユーザーライセンス契約に合意したことを意味します。もし、このエンドユーザーライセンス契約にご同意いただけない場合には、返金のために未使用製品のご返却方法をお伝えしますので、直ちに弊社にご連絡ください。なお、本エンドユーザーライセンス契約は、アップグレードされた本ソフトウェアにも適用されます。

エンドユーザーライセンス契約

1. 本ソフトウェアには、Adobe Systems IncorporatedおよびAdobe Systems Software Ireland Limited（以下、総じて「Adobe社」といいます。）のソフトウェア（以下「本組み込みソフトウェア」といいます。）が含まれます。本組み込みソフトウェアに関し、下記事項を遵守することを条件に、お客さまは、弊社が直接または間接的に提供した本STBを使用することと合わせて、機械可読の状態で、且つオブジェクトコード形式でのみ、当該組み込みソフトウェアを非排他的にインストールし且つ使用することができます。但し、当該許諾には再使用許諾は含まれません。

(a) 本組み込みソフトウェアの使用許諾権は、本STBのシングル・ハードウェア単位で使用することに限定され、また、お客さまは、本STBのシングル・ハードウェア単位を超えて本組み込みソフトウェアを使用してはなりません。弊社が明示的に許諾しない限り、お客さまは、お客様自身が所有しまたはリースした本STBに組み込まれた状態で、または、当該STB上で実行するためにのみ本組み込みソフトウェアを使用しなければなりません。

(b) お客さまは、本組み込みソフトウェアを複写し、複製してはならず、また第三者にそのような行為をさせてはなりません。

(c) お客さまは、本組み込みソフトウェアを頒布、ライセンス、貸与、リース、譲渡その他複写してはならず、また第三者にそのような行為をさせてはなりません。

(d) お客さまは、本組み込みソフトウェアの著作権表示または秘密である旨の表示を切除又は改変してはならず、また第三者にそのような行為をさせてはなりません。

(e) お客さまは、本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングしてはならず、またはその他の方法で本組み込みソフトウェアのソースコードを明らかにしようとしてはなりません。また、お客さまは、第三者にそのような行為をさせてはなりません。

(f) お客さまは、適用される法令で許容されている範囲を超えて、本組み込みソフトウェアを人間が知覚できる状態に変換してはならず、また第三者にそのような行為をさせてはなりません。

2. 本組み込みソフトウェアの特許権、著作権、商標権、商号、トレード・シークレットその他すべての知的財産権等を含む一切の全世界的な権利はすべてAdobe社に帰属します。また、本組み込みソフトウェアの修正版、カスタマイズ版、改良版、アップデート版、アップグレード版および新機能はすべてAdobe社に帰属します。お客さまは本組み込みソフトウェアの権利を取得することはありません。

3. 本組み込みソフトウェアは現状のまま提供されます。適用される法律により最大限許容される範囲おいて、弊社は、商品性、特定目的への適合性、および本契約に関連しまたは起因して本組み込みソフトウェアに関して第三者の権利を侵害していないことを黙示的に保証する等、明示的、黙示的または制定法によって定められているかに拘らず、一切の表明保証は行いません。

4. 適用される法律により最大限許容される範囲において、弊社は、お客様に対し本組み込みソフトウェアの代替品調達コスト、逸失利益またはデータ、第三者のクレーム、もしくはあらゆる間接損害、特別損害、懲罰的損害または付随的損害について責任を負いません。これらは、訴訟方式に拘らず、契約違反または不法行為（過失を含む）であるかどうかを問わず、制定法によるかどうかは別にし、または、弊社がそのような損害の可能性を忠告していたかどうかを問いません。

5. 適用される法律により最大限許容される範囲において、本契約に基づく弊社のお客様に対する損害賠償額の総額は、お客様にお支払いただいた本STB購入代金を上限とします。当該損賠賠償額の上限は、あらゆる救済手段が本質的な目的を達成しなくても適用されます。

本ソフトウェアは、以下の条件に基づき、**VC-1**を使用しています。

THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD (“VC-1 VIDEO”)AND/OR (ii)DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.

ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

本ソフトウェアは、以下の条件に基づき、**MPEG-4 VISUAL**を使用しています。

With respect to a Licensee offering MPEG-4 Video Decoders and/or Encoders the following notice shall be given: THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.

ADDITIONAL INFOMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

本ソフトウェアは、以下の条件に基づき、**MPEG AVC**を使用しています。

With respect to a Licensee offering MPEG-4 Video Decoders and/or Encoders the following notice shall be given: THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.

ADDITIONAL INFOMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

本ソフトウェアは、以下の条件に基づき、**MP3**を使用しています。

"MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson."

登録商標に関して

らくらく無線スタートはNECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。
Wi-Fi、WPA、WPA2、WPSは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
その他の会社名、商品名や製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。